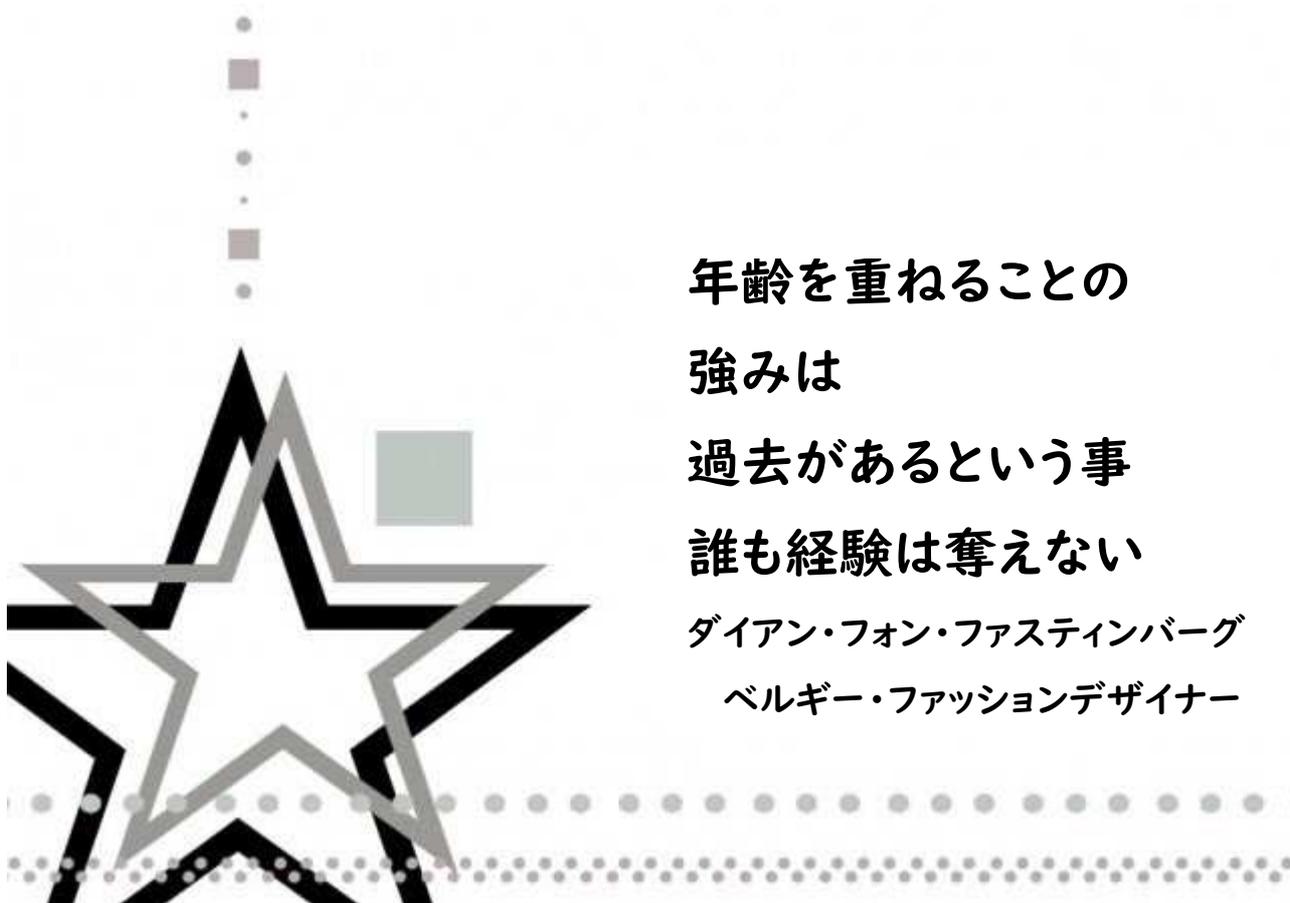


豊橋女性団体連絡会広報誌 第70号(2023.3)

男女共同参画の視点で女性たちが協力しエンパワーメントできる関係をイメージして名づけました。

シスターフッド



年齢を重ねることの

強みは

過去があるという事

誰も経験は奪えない

ダイアン・フォン・ファスティンバーグ

ベルギー・ファッションデザイナー

あなたを大切にしない人を

あなたが大切にする必要はない

我慢して生きるほど人生は長くない

『人生の結論』小池一夫

オンラインにて開催・・・三遠南信交流会は縁を結ぶ会

1 三遠南信地域女性交流会について（資料）

- (1) 日時：令和4年11月21日（月）10：00～正午（予定）
- (2) 会場：市役所東館12階 東121会議室
（市役所参加の場合は、9：45までに集合）
- (3) 発表：わっぱの会、豊橋商工会議所女性会（10分ずつ）
- (4) 申込者：

	自宅等	市役所
わっぱの会		1名
とよはし未来を拓く会		1名
豊橋おやこ劇場協議会		1名
東三にじの会	1名	1名
新日本婦人の会豊橋支部		1名
Kids&Mama NPOねこのて		1名
とよはし女性フォーラム	1名	
NPOまんま	1名	
豊橋商工会議所女性会		3名
グループ音紡ぎ		1名
小計	3名	10名

合計 13名

浜松市が飯田市と連携し

飯田市地域消費推進調査した。

SDGs と毎日の生活を、豊かで無駄のない社会づくりを学習し、協力し合っている。



豊橋市は

三遠南信女性交流会の一員として
何をしているのだろうか？ 又
何をしたらよいのか……



各市町2団体ずつそれぞれの活動発表を行いその後質疑応答するというもの。

豊橋市は、わっぱの会・豊橋商工会議所の2団体が発表した。

コロナ下ではあっても、工夫を凝らし活動を継続させていることはとても心強く励みにもなる。



豊橋市・浜松市・飯田市への活動に対して多くの意見が寄せられ、お互いへの興味・関心があふれているという印象を受けた。

- ・男女共同参画推進が年代・社会に応じて変化していると感じる
- ・言葉に出さなくても若い人は自然にできているように思う・
- ・高齢者が若い人に教わっている
- ・男女共同などの言葉がなくなる時代が来るのかも知れない
- ・働く女性の身体の話が聞けて良かった。時代が変わってきたと思う。

などと、希望的な意見が多く出た。又 どの市町も会員の高齢化問題を口にしている。

オンラインでの交流会はもどかしい部分もあるが、無縁社会を避けるためにも、開催する意義はある。

次年度は浜松市が当番都市になるが、どのような企画を立ててくれるのか、楽しみでもある。

一日も早く、対面交流が可能になるように念じつつ……

「ゲートキーパー」とは、(厚労省の位置づけ)

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人のことで、「命の門番」とも位置付けられる人のこと。※定義は、自殺を予防するため、鬱などの悩みをもつ人の自殺兆候を読み取り、見守りや助言を行う人。



参加者アンケート

- ・ゲートキーパーという言葉は初めて聞いた。精神科医への相談が要予約とあるが予約なしでいつでも相談できる気軽さがあるといい。
- ・傾聴のむつかしさ(うっかり意見を言ってしまうがちになる)
- ・死にたいとは思わないでも、心の変化がある時、話せる仲間や本音で話せる家族関係作りが大切だと思う。
- ・令和3年の豊橋の自殺者が65人もいるのに驚く。
- ・大変丁寧な研修だと思う。とても分かりやすく伝わる。もう少し、具体的な話や、専門的な話も聞きたい。むつかしい傾聴もどうやったらできるか知りたい。
- ・身近な問題として考えていきたい。今日の社会問題。相談に乗ったなら、親身になって丁寧な応接が必要。
- ・様々な社会状況の中、いろいろなニーズが出てきて、保健所など行政も対応していることを知る。ささやかではあるが私にもできることは心がけて、少しでもより良い社会になるとよいと思う。
- ・誰でもゲートキーパーになれるというのが自信はない。私のできることは、ただ話を聴くこと。アドバイスも励ましもしないで、私を選んで話してくれる目の前の人から、とつとつと出てくる思いに耳を傾けたいと思った。
- ・専門機関につなぐのはむつかしい。まずは相談窓口を利用する。
- ・2011年に、愛知県教育委員会の「命を見守る地域づくり推進事業」で国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 自殺予防対策支援研究室長 川野健治氏による 自殺予防啓発事業～君 死にたもうことなかれ～を企画・実施。自殺者家族のメッセージをフルートの調べにのせて朗読。この時点でゲートキーパーの言葉があった。気づき・声かけ・傾聴そして公的機関への橋渡しの重要性を説き、哀しく、重苦しい内容は決して目をそらせてはいけない問題だという内容は今ははっきりと覚えている。大切なことは今も継続されているのだと認識した。

〈豊橋女性団体連絡会〉は

女性の多様な活動が広がる中で、互いに切磋琢磨し、その持てる力を社会に向けて発揮していくことを目指しています。

「協働と共生」で様々な課題に取り組みながら、女性団体同士の交流を深めています。

〈豊橋女性団体連絡会構成団体〉

- ①わっぱの会 ②とよはし未来を拓く会 ③豊橋おやこ劇場協議会 ④東三にじの会
- ⑤新日本婦人の会 豊橋支部 ⑥Kids&Mama NPO ねこのて
- ⑦とよはし女性フォーラム ⑧ NPO とよはしCAP ⑩ハッピーグループ
- ⑪NPO まんま ⑫豊橋商工会議所女性会⑬グループ音紡ぎ
- ⑭農村輝きネット・東三河 ⑮ラ・ポール

※休会⑧JA 豊橋女性部会

～男女平等法実現のための長い列に加わる～

均等法をつくる 赤松良子

1898(明治3) 石井筆子 思いつくままに

男女の比 世にあるは言うまでもなく

同等の権利を具備するものにて

男子の為に女子あらざるはなお

女子の為に男子あらざるがごとし

この時代にこういった考え方を貫く女性
がいて、文章を残している。

「石井筆子」を検索してみてください。

内閣府男女共同参画局メールマガジンに登録すると

https://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/2022/533_r5_1_13.pdf

国の取り組む姿勢が見えてきます。ぜひ登録して時事問題に敏感であってください。 ※登録料は無料です。



豊橋女性団体連絡会広報誌 シスターフッド 70号

発行年月日 2023・3

編集発行 豊橋女性団体連絡会シスターフッド発行担当

事務局 豊橋市市民協働推進課

⑦⑨⑩⑪